

令和2年お茶づくり技術情報 (No.12)

2020年10月15日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象

1) 今後の気象の見通し

■ 1か月予報 (気象庁、令和2年10月15日発表)

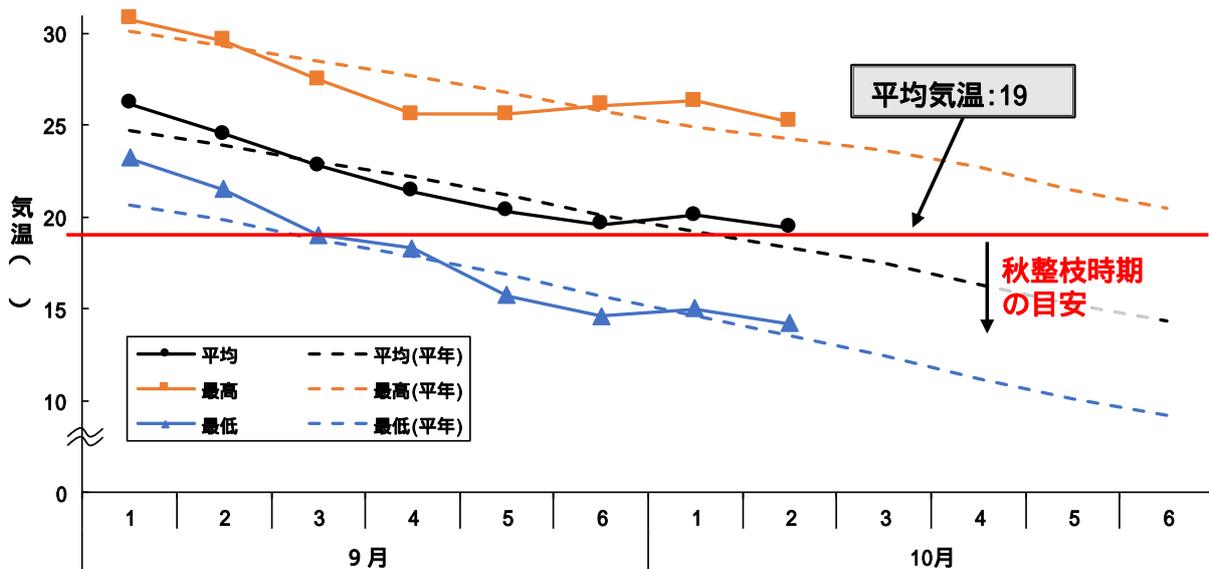
九州北部地方 (10月17日～11月16日)

1か月の平均気温・降水量・日照時間

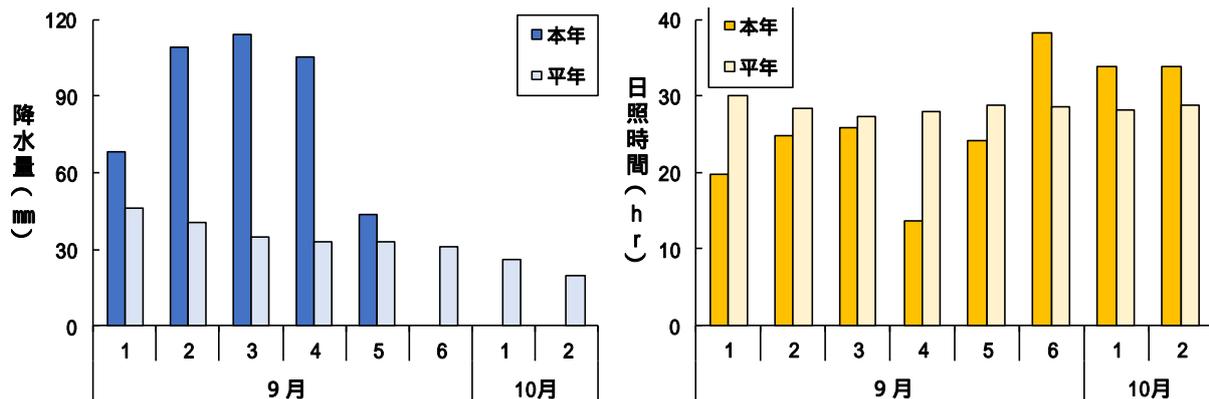
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
九州北部地方	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み

- (1) 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高い見込み。
- (2) 向こう1か月の降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か少なくなる見込み。

2) これまでの気象 (2020年9月～、嬉野市)



- (1) 平均気温は、9月第1～2半旬は平年よりやや高く、第3～6半旬にかけてはほぼ平年並～低く推移した。10月第1～2半旬は平年よりやや高かった。



- (2) 9月第1～5半旬にかけて平年より降水量が多く、9月第6半旬～10月第2半旬は降雨がなかった。9月の月間降水量は441.5mm（平年比196%）で、平年より多かった。
- (3) 9月第1～5半旬までの日照時間は平年より少なく、9月第6半旬～10月第2半旬は平年より多かった。9月の月間日照時間は146.3時間（平年比87%）で、平年よりやや少なかった。

2. 今後の管理

1) 秋芽生育と秋整枝

本年は、梅雨時期が平年より長く、秋芽が徒長的に生育した園が散見される。そのような園では秋整枝面付近の節間が長く、越冬芽は小さい傾向であるため、整枝時期は早めで、整枝位置を高めにする。

一方、中切りを行った園で秋芽の伸長が悪い事例もある。その場合は整枝時期を急がず、軽くならす程度にするなど、茶園の状況に応じた整枝を行う。

また、気象予報から今後10月中旬まで気温が高い見込みとなっている。再萌芽のリスクを避けるためにも気温が整枝時期の目安（平均気温：18～19℃以下）より高い場合は整枝を見送り、平均気温が目安以下となってから整枝を行う。

※秋整枝の整枝時期、整枝の位置については、前号（No.11）を参照のこと

2) 病害虫防除

病害虫防除については、『令和2年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき』を参照してください。